

実践例 総合的な学習の時間(3年) 11月実施

単元名「ふるさとのこんにやくたんけんたい」(36時間予定の8時間目)

<授業の視点>

体験を通して得た個々の気付きや疑問点についてグループで分類・整理したものをもとに課題を作る際に、視点を提示し、友達と話し合ったり考えさせたりする活動を取り入れたことは、課題について考える力を身に付けさせるのに有効であったか

【つかむ】…課題把握

<本時の学習課題>

「これから調べてみたいことややってみたいこと」をみんなで考え、学級全体の課題を決めよう

手立て 各グループから出された小見出しを短冊に書いておき黒板に掲示しておいた。

【追求する】

各グループから出された小見出しを見て同じもの同士をまとめましょう。

手立て

表現の仕方は違っていても内容が同じものや関連しているものがないか考えさせた。その際に、体験時の写真やこんにやく玉の実物を提示したり、学習シートを読み直しさせたりして、「どうしてそのことを追究したいのか」などの思いを明らかにさせ、考えを深めさせるようにした。

小見出しがた
くさんあるね



ぼくたちのグループ
が考えたのと同じの
はどれかな

体験したことを思い出しながら考えてみよう



学校の畑のこんにやくを掘ったり角田さんの畑の見学をしたりしたな・・・

大きいも・・・



畑で働く人・・・

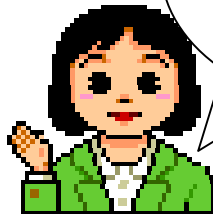


おいしかったおでん・・・





ぼくたちの書いた「こんにやくの育ち方」という小見出しは、6班の「こんにやくの生態」という小見出しと同じ意味です。こんにやくが育っていく様子についていろいろと調べてみたいです。



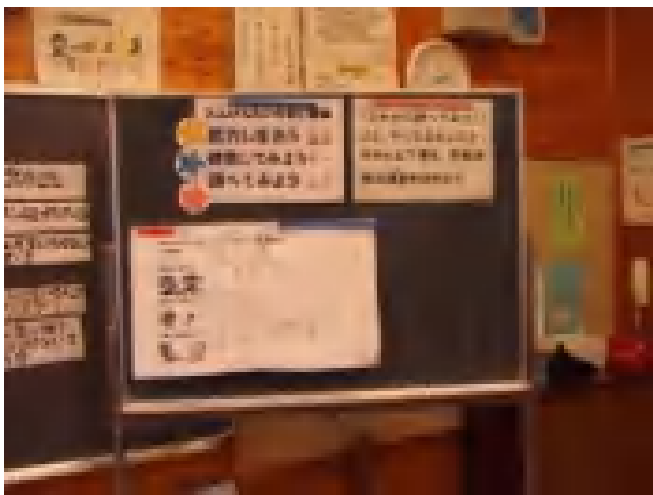
みんなの考えを聞いて、カードを並び替え整理していききました。



次に、グループで「たんけんたいの合い言葉」に沿って話し合いながら課題を考えていきましょう。

手立て

課題作りの視点「たんけんたいの合い言葉」を提示し、それと照らし合わせながら、それぞれの小見出しが妥当であるかどうかについて話し合わせた。

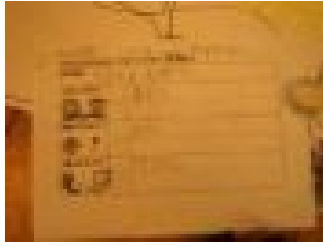


「たんけんたいの合い言葉」は
協力し合おう
体験してみよう
調べてみよう だね



まず、自分の考えをカードに書いてから話し合しましょう。

手立て 前時にグループでまとめた模造紙（小見出し）をみながら考えさせた。一人一人に課題の吟味をさせることにより自分の考えがもてるようにした。



どうして角田さんの家の
のこんにゃくは大きい
のかな。育て方のひみつ
を聞きに行くといいね。
「体験しよう」は だ。

友だちと一緒に
調べた方がいい
から「協力し合お
う」は ……



こんにゃくの育て
方はパソコンでも
調べられそうだな。

この小見出しは「合
い言葉」にあってい
るかな

自分の考えがカードに書けましたか。では、今度はグループの人と一緒に考えていきましょう。
「たんけんたいの合い言葉」にあてはまる小見出しには色別シールを貼っていきましょう。

この小見出しは「たんけんたいの合
い言葉」と合っていたよ。シールを
貼ろう。

手立て グループごとの学習状況を見取り、必要な支援を
行いました。



グループで考えた小課題を発表し合いましょう。

手立て
出された意見が他のグループにも共通していないか考えさせ、児童の意見をつないでいくよう
にした。



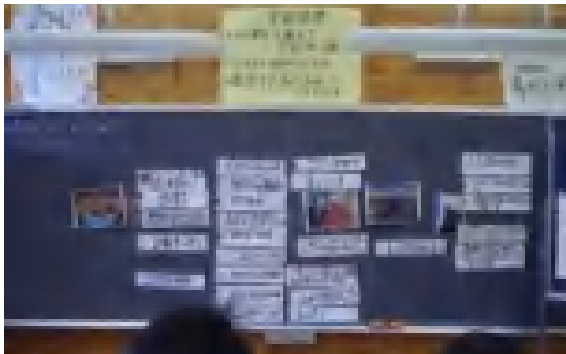
「はたらく人の苦勞や努力」は、「たんけんたいの合い言葉」にあっています。友だちと協力して、角田さんにインタビューをしたりパソコンで調べたりすればいいと思います。

「こんにゃくの料理」は、作り方を調べて、みんなで実際に作ってみればいいです。シールが三つ貼れました。



小課題が決まりました。整理された板書を見て学級全体の課題を考えましょう。

手立て 教師が中心になり児童の考えをまとめて課題を設定した。一人一人の思いや考えが集まった課題であることを認識させ追究への意欲をもたせるようにした。



ふるさとのこんにゃくたんけんたい
みんなの課題

こんにゃくいもやその育て方のひみつを調べよう
こんにゃくいもを作る人の工夫や努力について調べよう



【まとめる】

学級全体の課題が決まりました。みなさんが調べてみたいことは何ですか。次の時間は調べる計画を立てていきましょう。

手立て 取り組んでみたいことを確認し、次時への意欲付けを図った。

授業を終えて

《成果と課題》

成果

児童の意識の流れを大切にしていたことにより、単元指導計画がよく練られたものになった。

模擬授業で事前に小見出しの分類を観点を決めて行ったことにより、本時では児童と話し合いながらうまくまとめられた。

課題作りの観点を設定したことで、児童がそれを元に検討することができた。

課題

課題につながる体験活動の吟味が必要である。

グループでの話し合いの仕方については日頃の授業で訓練していくことが必要である。

児童の発達段階や授業内容に応じて一単位の授業時間を決めるようにする。

課題作りの視点の内容について、検討する必要がある。

今後も社会科と総合的な時間のねらいの違いを明確にしながら、単元計画を作成していくことが大切である。

イラスト

<http://www.schoolicons.com/>